

家族で
一緒に学ぼう!

教えて!うえやま先生!!



心地よい生活を創る経験

身体的な発達とともに、自分でできることが増えていく中で、子供たちは、心地よい生活を創る経験を積み重ねていきます。食事に合わせて箸やスプーンを使い分けることできれいに食べられたり、使ったものを片付けることで、次も気持ちよく遊べたりすることを学んでいきます。時には、どうしてこんなことにこだわるの? できないの? と思う場面もあると思いますが、スマールステップで一

緒にやってみたりすることで、子供たち自身が自分の生活を自分で決めている、心地よい生活づくりの主体である経験を大切にしていきましょう。

うえやま るつこ
上山 瑞津子先生

福山市立大学教育学部児童教育学科 准教授
研究分野は、幼児教育学、発達心理学／保育者の専門性に関する研究を行っている

家庭でできる遊びを紹介

1 紙コプター

細長い紙に互い違いに切り込みを2か所入れ、紙の両端を合わせて、何度も折ると、紙のヘリコプターの完成です。これを落とすと、くるくる回ります。「どうしてこんなに回るのかな?」「どこまで切り込みを入れるとよく回るのかな?」「端に重りをつけてみるとどうだろう」と、お子さんの発想を楽しんで一緒に試行錯誤しながら遊んでみてください。

作り方 /



2 ふしぎなたまご

アルミホイルの袋にビー玉を入れて口を閉じ、箱に入れて振ると、たまご型のおもちゃができます。ただのビー玉とは違う動きをする「ふしぎなたまご」に子供たちは「なんでだろう?」「大きなビー玉ならどうなるんだろう?」と疑問を持つはず。子供の「なぞ?」を大切に、ビー玉を増やしたり、大きなものを作ってみたりと親子で遊びを広げてみてください。

作り方 /



家庭で楽しく!子育てひろば

URL <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/387963.pdf>

家庭で「ちょっとやってみよう」と思える、役立つ情報を発信中

親子コミ広島

検索

URL <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/>



いろいろな場面をテーマに遊びや生活の中に学びがあることをお伝えしていきます

遊び「は」遊び

はじめまして、
子育て奮闘中の家族です

とはいっても…



1

2

外から帰ってきたら……



3



4

遊び 学び 育つ ひろしまっ子!

広島県教育委員会乳幼児教育支援センター

子供にとって

遊びや日々の生活の全てが学びです！

「遊び」や「生活」は子供にとって探求の宝庫。

遊びや生活の中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、困難を乗り越えること、人と関わることが、主体的に学び続けることにつながります。



3歳
ごろ

起床

しつかり体を動かして遊ぶことで、早寝早起きの習慣がつき、気持ちよく目覚めます

食事

3~4歳
朝食を食べる習慣がつくと良いですね
なかなか食べないときはごはんを一口大のおむすびにするなど工夫するといいです



感じる・気付く力

スプーン・フォークから箸と道具を使って食べることを楽しみましょう

自分で食べる量を決めてみましょう

考える力

4~5歳

今日は箸にする？スプーンにする？

やりぬく力

4歳
ごろ

排泄

3~4歳
子供の排泄時間を見ながら子供が言ってくるのを待ってみるといいですよ



よく言えたね、教えてくれてありがとう
達成感が重なると自信につながりますよ



感じる・気付く力

人とかかわる力

5歳
ごろ

「5つの力」って何？

乳幼児期に育みたい力

感じる
・
気付く力

うごく力

考える力

やるぬく力

人と
かかわる力

着替え

3~4歳
自分で着たい服を選びましょう



今日は
どっちにする？

人とかかわる力

5歳

脱いだ服をたたむ習慣がつくといいですね

たたんだ服、脱ぎっぱなしの服どちらがいいか声かけをしてみましょう



感じる・気付く力

感じる・気付く力

清潔

3~4歳
手洗いの習慣が身につくといいですね



自分で
できたね
鼻水を自分で
ふけるかな

感じる・気付く力

4~5歳

自分で考えてきれいにできるかな



おやつを
食べるから
手を洗おう

睡眠

3~5歳
今日1日について話してみましょう
子どもの気持ちを大切にしましょう



明日は何して遊ぼうか
今日は何して遊んだの？

人とかかわる力

4~5歳

その子に合った寝るまでの流れを見つけよう

同じ時間にカーテンを閉める人形をもってくる布団に入る絵本を読む電気を消す寝る

※日中しっかり体を動かすることで、たくさん食べ、しっかり眠ることができます

うごく力

POINT

●子供の発達は個人差が大きく、環境によっても異なります。あくまでも1つの目安とするといいですね。

●ついつい手をだしたくなるかもしれません、子供の自分でできた達成感や満足感が増えるよう見守るといいですね。

●生活の中で育まれる「5つの力」はそれぞれの場面に記載しているものだけではありません。子供の姿を見守りながら他にどんな力が育まれているか考えてみるのもいいですね。